

山岳部 北海道の尾瀬、雨竜沼湿原を歩く。

(7月16日(土))

当初の予定では、前日に北竜町でテント泊をして南暑寒岳まで登る予定だった。しかし、前回の夕張岳後の部員の疲労状況や野球の全校応援等の過密スケジュールなどを考慮し、雨竜沼湿原のみのんびりと散策する計画へと変更した。入山時、顧問2名は500円の環境保護の寄付と受付を済ませた。美しい自然保護に役立ててもらいたい。全道的に雨模様の予報の中で、少しの雨に当たったものの全体としては天候に恵まれた。エゾカンゾウやヒメツグミ、シカバネイが見ごろを迎えており、シカによる被害の報告も聞いていたが、十分目を楽しませてもらった。途中の白竜の滝はもちろん、北海道の尾瀬と呼ばれる雄大な景色を堪能しながらの散策に、部員たちも満足な様子であった。点在する沼、周りを取り囲む南暑寒岳や暑寒別岳を眺めながら10年ほど前に岩東がここを舞台に全道大会の当番校をやったことに思いを馳せた。岩東山岳部は、これからどこに向かっていくべきかを再考すべき時期が来ているようだ。下山後、雨竜町いきいき館できれいさっぱりして、17時半頃に、岩見沢駅へと戻ってきた。



南暑寒荘前で記念写真



吊り橋を2つ渡ります



白竜の滝を下から眺める



雨竜沼湿原テラス



点在する沼々



見ごろだったエゾカンゾウ



湿原展望台で昼食休憩